



第4回

江別市学校給食用食器検討委員会

目次

- 第2回検討委員会の振り返り - - - 2
- 各種食器のリサイクル方法について - - - 7
- 市議会における一般質問について - - - 9
- 児童生徒・保護者・市民からの意見 - - - 11
- 学校現場からの意見 - - - 11
- 今後のスケジュール - - - 15

第2回検討委員会の振り返り

第2回検討委員会での意見交換

メラミン食器についての補足説明 ⇒ 別紙資料①

破損事故等に関する対応マニュアルがあるのか、それとも現場における判断か。（委員）
⇒給食センターから各学校に向けて対応方法を周知している。（事務局）

プラスチックに変えるという内容の記事を新聞で見たが、市の思いとしてプラスチックに変えたいという趣旨なのか。（委員）

⇒プラスチックに変えるという前提で検討委員会を開催したものではなく、あくまで子ども達にとって安全安心な食器を検討してもらいたいという思いである。（事務局）

子どもにとって物を壊してしまうということは、とても大きなこと。
割れることは始末も大変だが、子ども自身にも負担がある。（委員）

第2回検討委員会での意見交換

強化磁器食器が採用されてから10年以上経過しているが、欠点についてメーカーによる改善等はないか。（委員）

⇒従来のものより、丈夫な食器が開発されている。（事務局）

（これまで以上の強度を持つとされる世界最高強度の磁器材料を使用した食器のサンプルを実際に持ってみての確認をお願いした。）

2年生が重そうに配膳作業をしていたが、もし変わると更に重くなりそうと感じた。

5年生の学級ではスムーズに配食作業をしていたが感想を聞いたところ「重たい」と言っていた。逆に食事をしている感じがして重たいのが良いという子もいた。

子どもが使用する物なので低学年でも高学年でも、もう少し軽い食器だと良いと感じた。

上記は（委員）からの意見

米飯については既にプラスチックを使用している状況で、食器は陶器でなくてはならないという話にもならないと思うがどうか。（委員）

⇒米飯容器はご飯しか入れない容器であり、汁物や色々な食材をいれる食器とは異なるとの考えから、食器について改めて検討をお願いしているもの。（事務局）

第2回検討委員会での意見交換

学校給食の食器具の検討という論文について ⇒ 別紙資料②

材質安全性、児童生徒の作業及び運搬の負担、これだけではなく、調理員の作業の観点も非常に大切である。（委員）

強化磁器食器からPEN食器へ変更する流れは一般的であり、施設の建て替えがある場合には多くの自治体でそのような傾向がある。逆に強化磁器食器を残すとする場合、その理由は何かという視点も必要ではないか。（委員）

磁器食器の良いところとして料理映えがする点も論文に記載されているが、デザインによるところも大きく、プラスチック食器も工夫により料理映えを向上させることは可能。（委員）

磁器食器は重く、重厚感があるが、児童に食文化などを伝えるにあたっては、花の模様を入れるなどPEN食器でも工夫次第で十分に補完できる。（委員）

第2回検討委員会での意見交換

メラミン樹脂製食器も20年前とは大きく変わり、食器として使用することに問題がないのは理解した。（委員）

包装資材としても問題は無いということだが、傷から未解明の分子構造の物質が溶け込む可能性はゼロではなく、プラスチックの場合、長期間使わないことが必要ではないか。（委員）

PEN食器の耐用年数は10年位と見込んでいることが多いと思うが、傷ついたりした場合にその食器を除くチェックが大切になる。（委員）

プラスチックを減らすというSDGsの動きの中、あえて食器をプラスチックにすることは好ましくないのではないか。（委員）

江別市でもプラスチックを減らしたいというのが市の方針ではないか。（委員）

⇒プラスチックごみ削減を推進しており、食器として長く使用する前提で、プラスチックごみを過剰に増やすものではないことから、プラスチック食器への変更も対応策のひとつとして、ご検討いただいている。（事務局）

各種食器のリサイクル方法について

各種食器のリサイクル方法について

各種食器のリサイクル方法について、食器メーカーに聞き取りを行いました。

強化磁器 食器	処分方法 リサイクル	・希望する市民や学校への譲渡（無償または有償） ・納入業者にリサイクル依頼（送料は市が負担） ⇒粉砕し、再生原料として15%以上配合した再生強化磁器を製造する。 ・老朽化や破損した強化磁器食器は業者に依頼し、「陶磁器くず」として埋め立て処分される
	懸念事項	【業者にリサイクルを依頼する場合】 ・リサイクル依頼時の送料負担（3万枚で120万円以上と試算） 【市民に譲渡する場合】 ・事前の厳重な検品と洗浄、及び「自己責任での使用」、「再譲渡の禁止」に同意してもらう手続きが必要
PEN樹脂製 食器	処分方法 リサイクル	【納入業者によるマテリアルリサイクル（物へのリサイクル）】 ・熱可塑性樹脂ブラスト材に加工⇒バリ取りや塗装剥離などの工業用途で再利用 ・トレイなどのリサイクル商品の再生原料として活用 【サーマルリサイクル（エネルギーへのリサイクル）】 ・市内業者によりRPF（固形燃料）として加工する
	懸念事項	・耐用年数の設定 ・耐用期間満了後、更新する際の経費が多額になる

市議会における一般質問について

市議会における一般質問について

令和8年第1回定例市議会にて、食器検討に関して、現在の強化磁器食器が食育面からも有効な、市の特色を生かした優れた食器であるとの観点から、一般質問がありました。

検討が必要な理由、強化磁器になった経緯と意義、検討への具体的な調査内容などの質問があり、これまでの検討委員会で提出した資料や検討の内容を踏まえて答弁を行っております。

※一般質問の詳しい内容につきましては、下記のyoutubeでご覧いただけます。

江別市議会 youtube 令和8年第1回江別市議会定例会第4号

検索

<https://www.youtube.com/watch?v=60MvEmVKbPs>



児童生徒・保護者・市民からの意見

・令和7年12月11日から令和8年1月16日の期間で、**江別市学校給食の在り方【基本構想】（案）**についてパブリックコメントを実施しました。

・食器について意見を求めたものではありませんでしたが、意見の中に食器に関するものがありました。

① プラスチックだと健康が心配

② プラスチック食器へ変わることに疑問がある。

以上、計2件でした。

・なお、これらの意見については、「**食器に関しては、「江別市学校給食用食器検討委員会」において検討することとしているため、在り方検討委員会での議論や基本構想案では言及しておりませんが**、民間事業者に任せるということは考えておらず、これまでと同様安全なもので提供していきます。」と回答しています。

市民・保護者・児童生徒からの意見

令和8年6月5日 給食センターだより（別紙3）を発行し、全児童生徒（約9,000人）に、これまでの検討委員会における検討内容をお知らせしました。

事務局では、さらなる児童生徒及び保護者の意見を聴取するため、検討委員会にお諮りしたうえで、給食センターだよりを発行し、意見を寄せていただく機会を設けました。

これまでにいただいた意見（詳細別冊）

今後、どのような対応を希望するか	件数	受付番号
現行の強化磁器食器のままだが良い※1	8件	2,3,6,12,13,14,16,18
プラスチック食器に変更した方が良い※2	9件	1,4,5,8,9,10,11,19,20
今のままではなく何か他の素材※3	3件	7,15,17

※1 強化磁器食器のままだを望む理由の多くは、「学び」、「食育」の重視

※2 プラスチック食器への変更を望む理由の多くは、「安全」の重視

※3 「何か他の素材」とは、「軽量で衝撃に強い素材であれば何でもよい」、「ステンレス製などの金属」。

学校現場からの意見（献立アンケートより）

給食センターでは年3回、学校の給食担当の先生方と献立会議を開催しており、小学3年生、5年生、中学生2年生の担任教諭を対象に事前アンケートを行い、色々な意見を伺っています。

質問項目 「給食準備や片付けについて（食器や食具、配膳用具など）」

過去3年間でいただいた食器に関連した全ての意見を別冊にまとめています。

意見の主な内容

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ・ 割れないタイプが良い | ・ 重いので子ども達が配膳に苦労している |
| ・ 軽くて扱いやすい食器が良い | ・ 重いので姿勢が悪くなる |
| ・ 給食の内容にあった食器が良い | ・ 割らないように扱いを指導している |
| ・ 陶器じゃない食器が良い | ・ 保温性が高い食器が良い |
| ・ ガチャガチャと大きな音が鳴るのが気になる | |

今後のスケジュール

日程	内容
2025年12月18日	第1回江別市学校給食用食器検討委員会
2026年 2月17日	第2回江別市学校給食用食器検討委員会
2026年 5月	第3回江別市学校給食用食器検討委員会（書面）
2026年 7月（今回）	第4回江別市学校給食用食器検討委員会
2026年 8月以降	必要に応じ開催、提言書の完成、教育委員会への提出